



教育施政の基本

新しく教育委員長と教育長が決まりました

子どもたちの安全・安心な未来のために



井上裕之教育委員長

宗像市では、全国に先駆け、小中一貫教育や中学2年生の職場体験事業業に取り組むなど、先進的に、しかも充実した教育行政を進めています。

平成18年度から開始した小中一貫教育は、本年度までに全7中学校区で取り組み、市民のみなさんにも浸透してきたと思います。

今後も、市民の目線で教育に関する事業を検証しながら、子どもたちの安全・安心な未来に向けて努力していきたいと思います。

「宗像市で学んで良かった」と思える教育を



久芳昭文教育長

宗像市は、行政の教育支援をはじめ、先進的な取り組みである小中一貫教育や保・幼・小・中・高・大の異校種間の連携が進んでいる教育熱心な文教都市です。また、生涯学習においても、全国的に見て先駆的な充実した取り組みがされています。

これまでの素晴らしい取り組みを継承・発展させながら、保護者や地域のみなさんと共に、時代に即した教育を進めていきます。特に、自分の目標に向かって力強く、たくましく生きる力を持った子どもたちの育成に力を注ぎたいと思います。

そして、将来、子どもたちが成長し、「宗像市で学んで良かった」「宗像市で育って良かった」と思えるような教育ができればと願っています。

学校教育は「生きる力」の育成を目指すものですが、子どもたちの実態を見ると、基礎的・基本的な知識・技能の習得やそれらを活用して課題を解決する力、学習意欲の高まりと学力の向上、自分に自信を持って生活し、他者を思いやる心の育成や体力づくりなどに課題があります。

このような課題を克服するためには、学校を含めて地域社会全体が長期に子どもたちを育てていく具体的な手立てや効果的な指導をするための条件整備を実施していくことが重要であると考えます。

そのため、学校教育委員会では、学校・家庭・地域が連携を深めながらそれぞれの教育力を発揮するとともに、保・幼・小・中・高という異校種間の効果的な接続を図っていきます。

このような連携・接続を深めていくことを中核として、信頼される学校づくり、子育て・子育てを支えるまちづくりと市民の学習の場づくりに取り組み、「安心して子どもを育てることができるまち宗像」の教育を創造していきます。

【詳細記事12～13ページ】



安心して子どもを育てることができるまち宗像

① 信頼される学校づくりの推進

- ①子どもが意欲的に学ぶ小中一貫教育の充実と拡大
- ②確かな学力を育む学習指導の充実
- ③豊かな心を育む教育活動の充実
- ④健やかな体を育む教育活動の充実
- ⑤学校関連施設の環境整備



パソコンでカレンダーを作る児童たち

② 子育て支援の連携

- ①家庭・地域教育力の向上
▽研修や講演会などの開催の促進
▽PTA活性化の支援など
- ②幼児教育の振興
▽幼児教育振興プログラムの見直し
▽保育所・幼稚園の情報の共有と研修の充実など



公園で元気に遊ぶ子どもたち

③ 市民の学習の場づくり

- ①市民図書館運営の充実
▽ボランティア団体との連携・協働
▽外国語絵本の整備など
- ②市民活動への支援
▽文化芸術活動団体への支援など



火おこしの体験をする児童たち